



JBCnews

since 1970

【毎月1回1日発行・1部20円】

JBCニュース
第544号 平成29年3月1日
昭和50年5月19日第三種郵便物認可

発行所
公益財団法人 全日本ボウリング協会
東京都港区芝4-4-10
サンライズ長井ビル8F 03(3452)4501
<http://www.jbc-bowling.or.jp/>



エナジックの野望は終わらない。

TEAM HISTORY

- 2015.4 チーム結成
- 2015.6 実業団産業別 **優勝**
- 2015.11 実業団選手権 **優勝**
- 2016.2 実業団都市対抗 **準優勝**
- 2016.6 実業団産業別 **2連覇**
- 2016.11 実業団選手権 **準優勝**
- 2017.2 実業団都市対抗 **優勝**

第34回 全日本実業団都市対抗選手権大会

実業団デビューイヤーの昨年度、次々と大会を制していったエナジックインターナショナル。唯一逃したタイトルが実業団都市対抗でした。借りを返すなら徹底的に。その決意は、過去3例しかないペーカー方式でのパーフェクト達成となって表れました。

2年間・6大会で4度の優勝、残る2大会も準優勝の好成績にも、満足はしないエナジック。来シーズンこそはとグラインドスラムの野望に燃えています。

- 2面 専門委員会レポート、INFORMATION
- 3面 JBC公認競技場制度 改定のお知らせ
- 4～5面 第32回全日本年齢別選手権大会
- 6面 第34回全日本実業団都市対抗選手権大会
- 7～8面 第48回全日本大学個人選手権大会、TOP BOWLER



KING OF BOWLING

文部科学大臣杯 第55回 全日本ボウリング選手権大会 〈スポーツ振興基金助成事業〉

平成29年3月17日(金)～20日(月・祝)

- 主催** 公益財団法人 全日本ボウリング協会
- 後援** スポーツ庁
公益財団法人 日本体育協会
公益財団法人 日本オリンピック委員会
愛知県教育委員会
公益財団法人 愛知県体育協会
稲沢市
稲沢市教育委員会
稲沢市体育協会
稲沢市ボウリング協会
全国ボウリング公認競技場協議会
- 主管** 愛知県ボウリング連盟

**GUINNESS
WORLD
RECORDS**

世界最大のボウリング場
116レーン(長さ198.39m/650.88ft)

ギネス世界記録認定を受けた
「世界最大のボウリング場」で、
リニューアルされた
「プロレーン」をご堪能ください。

稲沢グランドボウル 〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町 80-1
TEL 0587-21-2131 FAX 0587-21-2133

www.grandbowl.jp/inazawa



JBCニュースは、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています

スポーツ&L



費用負担が軽く！手続きはスマートに！ JBC公認競技場制度が新しくなります！

公益財団法人全日本ボウリング協会（JBC）は、内閣府認可の国内ボウリング統括団体として、スポーツボウリングの健全な普及を目指して「JBC 公認競技場制度」を実施しています。JBC が公認する競技会・リーグ等は、公認競技場として登録されたボウリング場で実施することと定め、アスリートである JBC の会員選手が常にスポーツボウリングに適したボウリング場でプレーできるよう整備しています。

JBC 会員選手は、支部・クラブ、実業団、高校部活動、大学といったチーム組織に所属。各チームが活動拠点とするのは「フランチャイズセンター」です。JBC 公認競技場に登録すると、フランチャイズセンターへの道も開け、JBC 会員が練習やリーグ開催のために定期的に利用することにもつながります。

現在 JBC 公認競技場は全国に約 380 件。制度の改定にあたっては経済状況も踏まえ、ボウリング場の負担を軽減するため諸費用も見直されました。またレーン検査・認証・登録という一連の手続きも JBC とボウリング場との間で完結するかたちとなり、よりスマートになります。

【 JBC 公認競技場制度とは… 】

世界ボウリング連盟 (World Bowling) および JBC の規格に合致したボウリング施設・設備を有するボウリング場を「JBC 公認競技場」として認定する制度です。

国際ルールに則ったスポーツボウリングに適したボウリング場であることを認めるとともに、JBC 会員ボウラーに活動拠点としての利用を促します。

スポーツボウリングは JBC !



JBC の公認競技は 世界クラスから地域レベルまで

JBC 主催の全国大会 年間22大会、国内各地を巡回

- 文部科学大臣杯 全日本ボウリング選手権大会
- NHK 杯 全日本選抜ボウリング選手権大会
- 国民体育大会ボウリング競技会 など

World Bowling 公認の国際大会 (日本開催)

- Bowling World Open (2015 年)
- International Bowling Championships (2012/2013 年)
- アジアシニアボウリング選手権大会 (2018 年開催予定) など

JBC 加盟団体 (全国9地区・47都道府県) の大会

- 各地区選手権大会 ● 国体ブロック大会
- 各都道府県選手権大会
- JBC 主催全国大会の各都道府県予選会 など

地域レベルの競技会

- 支部・クラブ、実業団、大学・高等学校部活動などの定期的活動（リーグ戦、月例会、練習 etc）

JBC 公認競技場になるには…

① 申請

認証検査を申込む

② 検査

レーンが規格に合致しているか、
認証検査員が訪問検査します

③ 認証

レーン認証検査に合格

④ 登録

公認競技場に登録すると
JBC の公認競技が実施可能に

舞台となるのは
すべて公認競技場

⑤ 活動開始

- 大会等スポット開催
- フランチャイズセンターなら会員が定期的に利用

JBC 公認競技場制度 諸費用

	認証料	検査料	公認競技場登録料
ウッドレーン リサーフェイス	2 年間 15,120 円	2,700 円×レーン数	1 年間 37,000 円 ※レーン数に関わらず
ウッドレーン 限定	1 年間 23,220 円		
シンセティック 設置時	2 年間 15,120 円		
シンセティック 設置後 2 年	2 年間 23,220 円		
シンセティック 設置後 4 年以降	1 年間 23,220 円		

6部門448選手の競演

30歳代の部入賞者



位 6 位

福永義徳は、飯坂はゲーム目からで80、3ゲーム目にも27で引、1回目は78でも27で引に立った、2位の大西智紀(兵庫)に47ピン差をつけた。2回戦はもう3つと1庄倒、2回戦を抜けて上位に上がった谷川有司(千葉)に77ピン差をつけた。

に77ピンのリードを作った。3回戦はペースのままに福永の65で3つまで引、福永、武部公英(大阪)が44で打ち上げ、5位に浮上した。57ヒールドで決勝戦に突入。

手応えあつた武部は勝利し

は一回戦、首位争いを演じたのは、7027の小坊（神楽川）と、2回戦も小島と佐藤（岡山）、2回戦も小島と佐藤（ともに6000台にまとめる）と、トリッホ、ツピン差で佐藤と3番犬張が対戦。

島本隆義（東宮）が佐藤と6ツピン差に迫り、4位以下も僅差で並んだ。

市川は一回戦ではツフリと順位変動、5位に下がっていた市川正明（京都）が336をマークして逆転した。太田千恵（神奈川）も9位から10位に上がる。市川10ツピン差の好位置に。梅田久徳（三

市川正明

使用ホール	CruX Pearl(15p2cz)	京都市府	60歳
公認ドライヤー	野呂昌史	(公認No. 0808-26)	

松井正信

使用ホール	Nirvana(15p1oz)	大阪府	68歳
公認ドライヤー	山木竜也	(公認No. 1159-27)	

ガイド

全日本徒船競選選手権大会は6つの年別部門、19歳以下、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代に分かれて選り手、決勝3ゲームのトータルスコアで優勝争う。

男女混合の個人戦のため、女性には「Eー15」のハンディキャップが加算される。60歳以上上部では70歳超選手にもハンディキャップ。

過去の大会において、トータルスコアを越える「Eー3」の例記録を持っているが、いずれも女子ハンディキャップ込によるもので、今大会で高橋拓哉選手が男子選手として、またスズキツチ（ハンディキャップ無し）で初の台突優勝を果たした。

昨年は3月の全日本選手権、翌の団体タイトルを増やした西部、この大会でもゆるやかな実力向上を示した。

面選手には会場のボウルニアピア静岡より記念品が贈呈された。

藤村隆史（静岡）は1
回戦、24歳、247・
254の安定感あるスコ
アメイクで2位に立つた
が、2位下も700U
以下

18歳以下の部 群馬県連盟	20歳
19歳以下の部 （No. B0832-10）	20歳代の部 静岡県連盟
20歳以下の部 （No. 0670-14）	21歳

20歳代の部

完全勝利！エナジックインターナショナル

第34回 全日本実業団都市対抗選手権大会

第34回全日本実業団都市対抗選手権大会が2月3日(金)から5日(日)にかけて、岐阜・岐阜グランドボウル(公認No.124・024)で開催された。全国50都市から77チームが参戦した今年度の実業団全国最終戦、エナジックインターナショナル(沖縄・北谷町)が初優勝を遂げた。

予選はトップを独走、決勝ではパーフェクトも達成し、昨年準Vに終わった雪辱を果たす完全勝利となった。

開会式

開会式は2月3日(金)14時に開始。出場連盟の連盟旗と大会旗、実業団連合旗の入場続き、前回大会優勝の札幌市役所チーム(北海道札幌市)から優勝杯が返還された。

北川薫協会会長のメッセージを齋藤良太郎専務理事が代読し、大会を主催する岐阜県ボウリング連盟の村瀬恒治会



岐阜県連盟村瀬会長

長が選手を歓迎した。競技規則説明と審判団の紹介に続き、地元岐阜県代表の川崎重工チーム・三澤慎之介選手が力強く選手宣誓し、開会式を終了した。



川崎重工三澤選手

競技

昨年のこの大会、最終ゲームで逆転され準優勝という悔しさを味わったエナジックインターナショナル(沖縄・北谷町)は、タイトル奪取への執念を隠さなかった。予選1回戦の1ゲーム目から、アベレージ241ものビッグスコアをマーク。3ゲームで2673とし、2位の日本製紙富士(静岡・富士市)に77ピン差をつけた。

2回戦も2505にまでめたエナジックが首位をキープした。日本製紙富士も2位を守ったが、トップとの差は132ピンに広がった。一方、3位の日本精工(神奈川・藤沢市)には15ピン差まで迫られた。

3回戦も最後のゲームを957で締めくくり、2665としたエナジック。トータルは7833で余裕のトップ通過を決めた。6位につけていたトヨタ自動車B(愛知・豊田)がチームハイシリーズ

の2736をたたき出して2位に浮上し、日本精工が3位と続いて決勝戦に突入した。ここまで絶好調のエナジックだが、決勝戦に予選のスコアは持ち込まれない。それだけではなく、ゲームスタイルもベーカー方式に切り替わる。仕切り直しの難しさから、序盤は打ちきれないゲーム展開が続いていたエナジックだったが、4ゲーム目に転機は訪れた。都市対抗選手権史上初となるベーカーでのパーフェクトを達成。これで100ピン近くあった1位JFE福山(広島・福山市)との差をほぼ解消すると、その後もビッグゲームを活かして勝ち星を稼ぎ、ポジションマッチ

を残してAグループのトップに立った。一方のBグループでは、エナジックのライバルとも言えるトヨタ自動車A(愛知・豊田)が1ゲーム目から254をマーク。するとトヨタ自動車の同門対決となった4ゲーム目では、予選2位通過のBチームが大勝して逆転した。そこに日本精工も絡んで大接戦の様相となったが、総当たりの11ゲームを終えてトヨタ自動車Aがグループトップにつけてポジションマッチを迎えた。

この時点で全体トップは2492のエナジック。2位は41ピン差でJFE福山だが、両チームは同じAグループのチを残してAグループのトップに立った。

ため直接対決とならず。3位にあたるトヨタ自動車Aがエナジックと対戦することになった。今シーズン、6月の産業別選手権はエナジックが、11月の実業団選手権ではトヨタ自動車Aが優勝を収めている。最終戦はライバルとも言える2チームのタイトルをかけた激突となったが、ここでも力を



パーフェクトの三村(左)と山崎



入賞チーム



ベーカー方式H/Gエナジックインターナショナル



チームH/G、H/Sトヨタ自動車B

第34回全日本実業団都市対抗ボウリング選手権大会 成績表

参加：50都市
77チーム 327名

平成29年2月3日(金)～5日(日)
会場：岐阜・岐阜グランドボウル

《4人チーム戦(決勝ベーカー方式)》

優勝	エナジックインターナショナル (沖縄・北谷町)	石嶺可奈子・大見謝翔 村濱裕紀・幸喜将太	2,983(180)
準優勝	日本精工 (神奈川・藤沢市)	斎藤祐太・原田保男・瀬戸優也 村上悦男・小林猛	2,908(180)
第3位	デンソーA (愛知・刈谷市)	夏目佳功・夏目美和・宮次良典 高野正美・梅田学	2,851(200)
第4位	トヨタ自動車A (愛知・豊田市)	阿部広知・本多悟・松岡富綱 嘉指康之・山口勝也	2,828(140)
第5位	JFE福山 (広島・福山市)	東孝行・石川慎二・畠田佳世子 鉾崎浩二・石井浩次	2,810(200)
第6位	トヨタ自動車B (愛知・豊田市)	西村由彦・三村哲司・中野伸彦 後藤成文・五島利夫	2,788(130)
デュアル方式 チームハイゲーム	トヨタ自動車B (愛知・豊田市)	西村由彦・三村哲司・中野伸彦 後藤成文・五島利夫	967
ベーカー方式 チームハイゲーム	エナジックインターナショナル (沖縄・北谷町)	石嶺可奈子・大見謝翔 村濱裕紀・幸喜将太	300
チームハイシリーズ	トヨタ自動車B (愛知・豊田市)	西村由彦・三村哲司・中野伸彦 後藤成文・五島利夫	2,736
個人ハイゲーム	山崎義浩	杉並区役所(東京・杉並区)	300
個人ハイゲーム	三村哲司	トヨタ自動車B(愛知・豊田市)	300
個人ハイシリーズ	山崎義浩	杉並区役所(東京・杉並区)	779

三村哲司		パーフェクト
使用ボール	Code Platinum(15p)	愛知県 58歳
公認ドライバー	牧野純久 (公認No. 0477-21)	
山崎義浩		パーフェクト
使用ボール	Trident(15p)	東京都 56歳
公認ドライバー	塩原 貴 (公認No. 0090-13)	

第34回全日本実業団都市対抗選手権大会において、エナジックインターナショナルチームが大会史上初となるベーカー方式パーフェクトゲームを達成した。協会主催大会第

エナジックが
大会初ベーカー300

ガイド

実業団の全国大会は1年一度に3大会開催される。3人チーム戦の全日本実業団産業別(6月開催)、5人チーム戦の全日本実業団選手権(11月開催)、そしてこの全日本実業団都市対抗選手権では4人チーム戦が行われる。

4人×9ゲームのトータルスコアを争い、上位24チームが予選を通過。ここでスコアはリセットされ、メジャーが1フレーム交代で1つのゲームを完成させるベーカー方式の決勝戦へ。

進出チームはA・Bの2グループに分かれ、各組12チームが1ゲームマッチの総当たり戦を行う。続いて各グループの同順位チームがポジションマッチ2ゲームを行う。各ゲームの勝利チームにはボーナス20点が加算され、スコアの合計で順位を決定する。ベーカー方式を採用しているJBC主催大会は全日本クラブ対抗と実業団都市対抗の2つ。クラブ対抗ではすでにベーカー方式パーフェクトが達成されていたが(3件)、実業団都市対抗では第1号のパーフェクトが今大会で達成された。

4号ベーカーパーフェクトゲームとして認定された。また個人では、三村哲司選手(愛知・トヨタ自動車)と山崎義浩選手(東京・杉並区役所)が大会第14・15号パーフェクトゲームを達成し、協会主催大会第410・411号パーフェクトゲームとして認定された。

エナジックインターナショナルと、三村・山崎両選手には会場の岐阜グランドボウルより記念品が贈呈された。

岡山商科の時代到来

第48回全日本大学個人選手権大会



男子の部

夏目智樹(岐阜大学)は予選1回戦、2009を含む814をいきなりたたき出した。2位の杉野太亮(京都大学)も778の好スコア。壮絶な優勝争いを予感させた。杉野は2回戦も700UPにまともなトップを奪った。宮澤拓哉(上武大学)は5位から2位に順位を上げたが、杉野との差は8マークに広がった。3回戦、杉野は617とアベレージを落とし何が何となく首位をキープ。3位に後退していた夏目が一つ順位を上げたが、杉野との差は52ピンと広がった。そして予選最終の4回戦、657の杉野に夏目は667と、わずかに差を縮めて接戦に持ち込んだ。3位には斉藤正浩(京都産業大学)が夏目と6ピン差で続き、上位48名が準決勝へ駒を進めた。

6ゲームを行う準決勝の前、杉野は安定した試合運びで636とした。しかし夏目はそれを上回る656で、2人の差はさらに縮まった。それだけではなく、長澤輝(朝日大学)は夏目と3ピン差、さらに1マーク差に斉藤と野村経博(岡山商科大学)がついて、トップ5が33ピン差内でひしめきあう大混戦に発展した。

この混沌とした状況で、野村が気を吐いた。準決勝後半のスコアは238・289・264。トータル4148までスコアを伸ばした。同じタイミングで727と打ち上げた斉藤にも63ピン差をつけて、有利な状況を作った。

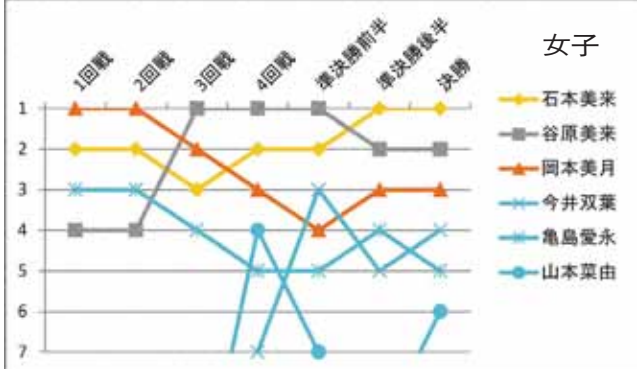
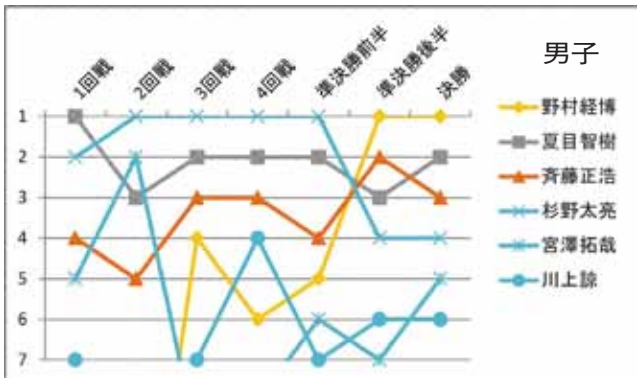
勝負のかかった決勝戦、野村は2ゲーム目にローゲームでピンチを迎えたが、ライブ



男子の部入賞者



宣誓役は、千葉商科・川上選手と岡山商科・石本選手



野村は京都府出身。2012年の全日本中学選手権で宣誓役を務めた所縁のあるキョーイチボウル宇治で凱旋勝利し、郷里の人々に一回り大きくなった姿を見せつけた。

女子の部

岡本美月(日本経済大学)が765と好調なスタートを切った。連覇を狙う石本美来(岡山商科大学)と亀島愛永(和歌山大学)は715。いきなり5マークの差をつけられた。2回戦ではトップ3の順位こそ変わらなかったが、633に留まった岡本に対し石本は659で、2人の差は24ピンとなった。亀島は石本を31ピン差で追った。

その亀島と26ピン差の4位にいた谷原美来(朝日大学)は、3回戦の3ゲーム目に290をマークして744。これでトップを奪った。岡本に

49ピン差をつけた。岡本と29ピン差で3位にいた石本は、4回戦で681をマーク。首位を守った谷原だったが、6ピン差まで迫られた。

上位24名による準決勝、谷原は前半648にまとめた。石本はプラスに乗せられず、リードは再び58ピンに広がった。ここで勝負に出たのは石本だった。249・259・279とゲームを重ねるごとにスコアを上げて、今大会のハイシリーズをマーク。628にまとめた谷原もこれにはついていけない。トータル4047の石本は101ピンリードで準決勝をトップ通過した。



女子の部入賞者



H/G、H/S(左から)亀島、宮澤、石本、夏目

第48回全日本大学個人ボウリング選手権大会 成績表

男子 166名 平成29年2月21日(火)～23日(木)
女子 29名 合計 195名 京都・キョーイチボウル宇治

《男子の部 (21G)》

優勝	野村経博	(学生連合・岡山商科大学)	4,777	初優勝
準優勝	夏目智樹	(岐阜・岐阜大学)	4,709	
第3位	斉藤正浩	(学生連合・京都産業大学)	4,662	
第4位	杉野太亮	(学生連合・京都大学)	4,659	
第5位	宮澤拓哉	(群馬・上武大学)	4,623	
第6位	川上諒	(学生連合・千葉商科大学)	4,593	
ハゲーム	宮澤拓哉	(群馬・上武大学)	300	
ハイシリーズ	夏目智樹	(岐阜・岐阜大学)	814	

《女子の部 (21G)》

優勝	石本美来	(学生連合・岡山商科大学)	4,671	2連覇
準優勝	谷原美来	(岐阜・朝日大学)	4,513	
第3位	岡本美月	(福岡・日本経済大学)	4,469	
第4位	今井双葉	(熊本・熊本学園大学)	4,421	
第5位	亀島愛永	(和歌山・和歌山大学)	4,369	
第6位	山本菜由	(和歌山・和歌山大学)	4,354	
ハゲーム	亀島愛永	(和歌山・和歌山大学)	300	
ハイシリーズ	石本美来	(学生連合・岡山商科大学)	787	



全日本大学個人選手権大会には全日本学生連合および都道府県連盟に所属する大学生選手が出場し、個人の王座を競う。競技は予選

(12ゲーム)・準決勝(6ゲーム)・決勝(3ゲーム)を行い、合計スコアで順位を決定する。

して知られるキョーイチボウル宇治での開催となった。出場選手には中学選手権の出場経験者も多く、今回優勝した石本美来は中学3年間で準優勝・準優勝・第3位の成績、野村経博は地元京都府代表として第4位に入賞の経験がある。

野村経博	男子優勝	19歳
使用ボール	Crux(15p4oz)	
公認ドライヤー	野呂昌史	(公認No. 0808-26)
石本美来	女子優勝	
全日本ナショナルチームメンバー	岡山商科大学	19歳
使用ボール	Code Star(15p2oz)	
公認ドライヤー	松島匡紗志	(公認No. 0943-34)

宮澤拓哉	パーフェクト	上武大学
全日本ナショナルチームメンバー	20歳	
使用ボール	Scandal Pearl(15p3oz)	
公認ドライヤー	中村敬一	(公認No. B0832-10)
亀島愛永	パーフェクト	21歳
和歌山大学		
使用ボール	Proson Cell(15p2oz)	
公認ドライヤー	武本真明	(公認No. 1539-00)

宮澤と亀島が達成

第48回全日本大学個人選手権大会において、宮澤拓哉選手(上武大学)と亀島愛永選手(和歌山大学)が大会第29・30号となるパーフェクトゲームを達成し、協会主催大会公認第414・415号パーフェクトゲームとして認定された。

TOP BOWLER

vol.112 チームワークはほぼ満点



(写真左から) 幸喜将太、村濱裕紀、石嶺可奈子、大見謝翔。沖縄県北谷町のエナジックボウル美浜に勤務するスタッフがチームを組んで、実業団界に参入。デビューの2015年は実業団産業別、実業団選手権の2冠に輝いた。唯一準優勝に終わった実業団都市対抗だが、今年は決勝パーカー方式でパーフェクトの偉業も遂げて初優勝。2年間で4つの全国タイトルを独占する快進撃が続いている。

実業団2年目を最高のかたちで終えた。パーカー方式でパーフェクトの最中、チームはどんな雰囲気でしたか？

石嶺「今大会は『必ず優勝する』という意気込みで臨みました。決勝戦パーカー方式の前半3ゲームは、なかなか波に乗れず他チームから出遅れる状況でしたが、あまり焦りはなかったです。パーフェクトゲームを達成した4ゲーム目は初めて全員のストライクが並んだ4フレーム目にチームの雰囲気が一気に変わり『イケる！』と思いました。その勢いのまま首位をキープし、最終ゲーム優勝できた瞬間は『ホッと』し素直に嬉しかったです。」

大見謝「1フレーム目からストライクが続いて、自分自身が投球する8フレーム目は、今大会で一番緊張した一投でした。続く村濱、幸喜は絶対に決めてくれると思ってバトンを繋ぎました。パーフェクト達成した瞬間は鳥肌が立ちました。僕は今年度エナジックの実業団チームに加わり、2度目の実業団大会でした。1度目は全日本実業団選手権大会で、チームに全く貢献できなかったのが、今大会は『優勝』を勝ち取る事ができて、とても嬉しく満足しています。」

村濱「パーフェクトゲームを達成したときはとても嬉しかったです。」

す。決勝パーカー方式の出だしが悪くて少し不安でしたが、4ゲーム目のパーフェクトは一気に流れに乗れたゲームでした。僕は、常にアンカーへ良いバトンを繋ぐ事を意識しながら投球していました。昨年は準優勝という悔しい結果で終わった大会だったので、優勝できて本当に良かったです。来年度はグランドスラムを目標にチーム一丸となって、これからも日々精進していきます。」

幸喜「この大会は昨年、決勝最終ゲームに僅差で負けてしまい、とても悔しい思いをしました。今年は『絶対に勝ちたい！』と気合の入った大会でした。しかし、僕は予選からスコアを伸ばせず悩んでばかりいました。納得のいかないまま決勝のパーカー方式に入り、不安でいっぱいでしたが、チームのみんなに引っ張ってもらい、優勝することができました。優勝が決まった瞬間、『ホッと』して力が抜けた。パーカーのパーフェクトゲームは勝つために必死で、あまり覚えていません。」キャプテンに伺います。チーム結成からの2年間で自己採点するならば？そして3年目に向けて思うことは？

石嶺「実業団参加の際に掲げた目標が『グランドスラム達成』でしたので、その目標を叶えていない点で言えば100点満点とはいきませんが、センター運営におけるチームワークの構築と言う点では限りなく満点に近いと思います。チーム戦を通してお互いを知り、助け合い、同じ目標に向かって協力し合う…職場でもそれが生かされていると実感できています。来年度の目標はもちろん『グランドスラム』です！…が大会に参加される色んな企業の皆さんとの交流の中で色んな事を学ばせていただき、チーム全員で成長していければと思っています。」

エナジックインターナショナル(沖縄県)



第48回 全日本大学個人選手権大会

2月21日(火)11時30分から開会式が執り行われた。まずは前回大会優勝の石本美来選手(岡山商科大学)と川上諒選手(千葉商科大学)から優勝杯が返還され開会が宣言された。主催者を代表して、全日本学生ボウリング連合会会長を務める吉岡英隆協会副会長が挨拶し、(二社)京都府ボウリング連盟の田坂幾太会長が来賓として祝辞を述べられた。大会を主催する全日本学生ボウリング連合の等原大委員長は大会に臨む選手に訓辞をおく

開会式

第48回全日本大学個人選手権大会が2月21日(火)から23日(木)にかけて、京都・キョーイチボウル宇治(公認No.126・OGC)で開催された。女子の部は石本美来(岡山商科大学)が2連覇。NHK杯優勝や国際大会での実績に裏打ちされた強さを示した。男子の部も岡山商科大学の野村経博が優勝。出身の京都で初めての個人タイトルを獲得し、大学ボウリング界に「岡商」の名をとどろかせた。

り、大会競技規程説明・認証報告と滞りなく式は進んだ。選手宣誓役は石本選手と川上選手が務め、力強い宣誓をもって開会式を終え、3日間の競技に入った。

吉岡副会長



京都府連盟
田坂会長



全日本学生連合
等原委員長



石本
V2
野村
初制覇



優勝杯を返還する前回大会王者

ABS は JBC のオフィシャルサプライヤーです。

ナショナルメンバーのウェアはABSが提供させていただいています

新畑雄飛 選手

泉宗心音 選手



JBC公式Facebookページ OPEN!

<https://www.facebook.com/japanbowlingcongress/>
「公益財団法人全日本ボウリング協会」で検索

公益財団法人 全日本ボウリング協会 www.jbc-bowling.or.jp